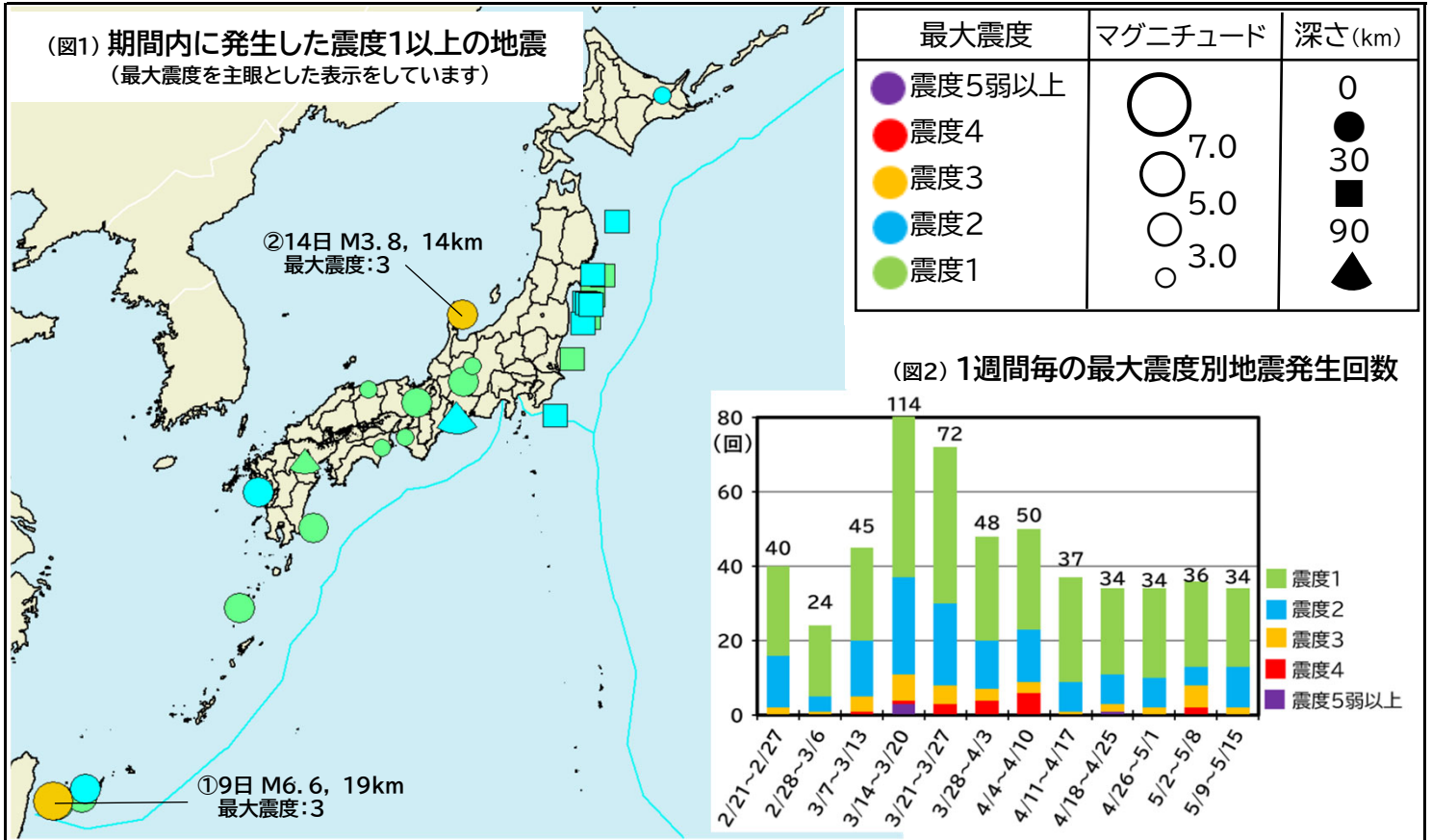


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が34回発生。最大震度は3。 ■

- ①9日15時23分に与那国島近海で発生した地震(M6.6、深さ19km)により、沖縄県与那国町で震度3を観測したほか、宮古島から与那国島にかけて震度2~1を観測(トピックス参照)。
- ②14日08時08分に石川県能登地方で発生した地震(M3.8、深さ14km)により、石川県珠洲市で震度3、能登市で震度2、穴水町で震度1を観測。この付近では2020年10月から震度1以上を観測する地震の発生が続いている。

トピックス

■ 与那国島近海の地震 ■

- ・9日に発生した地震は、台湾でも震度1以上の揺れが広い地域で観測されており、台湾の中央気象局HPで震度分布図が公表されています(図3)。
- ・台湾の震度階級は、日本の気象庁の震度階級と同様に震度5と震度6を強・弱に細分した0~7の10階級となっており、震度とそれによって引き起こされる災害発生の内容に関連性を持たせた解説表も作成されています。
- ・西表島から台湾にかけての与那国島周辺の地震活動は、フィリピン海プレートと陸側のプレートとの境界で発生する地震および沈み込むフィリピン海プレート内部で発生する地震など活発であり、M7クラスの地震が10年弱に1回程度の頻度で発生しています(図4)。
- ・このうち、1966(S41)年3月13日に発生した地震(M7.3、深さ42km・最大震度5)では与那国島で死者を伴う被害が発生し、小規模な津波も発生しました。また、2001(H13)年12月18日に発生した地震(M7.3、深さ8km・最大震度4)では与那国島で12cm、石垣島で4cmの津波を観測しています。
- ・政府の地震調査委員会が公表した与那国島周辺で今後30年以内にM7から7.5程度の地震が起こる確率は90%程度以上、さらに、確率は不明としながらも与那国島周辺でM8クラスの巨大地震が発生するおそれもあるとしています。

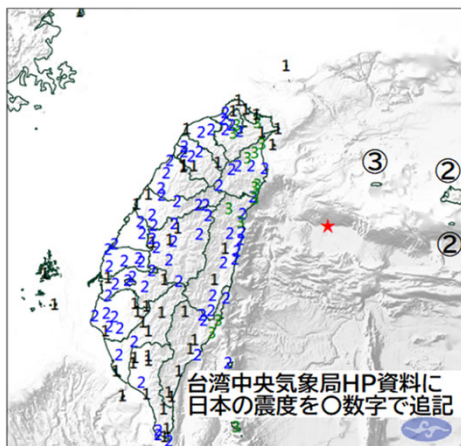


図3:台湾での震度分布図。

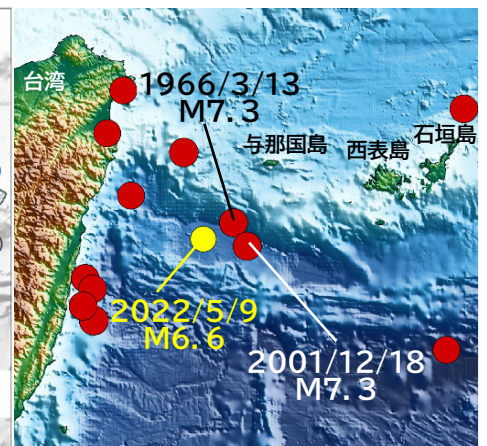


図4:1919年以降に発生したM7以上の地震と5月9日の地震の震央分布図